

平成28年度 都城市立菓子野小学校 関係者評価書 (学校運営協議会の評価)

※4段階評価 (4:期待以上 3:ほぼ期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する)

評価項目	評価指標等	方策・手立て	評定	学校運営協議会のコメント	
1 基礎学力の向上	① 基礎的・基本的学習内容の確実な定着	○ 全国学力学習状況調査、県学力状況調査等での成果アップ ○ 単元末テスト、学期末テスト等での目標達成	3	○ 本年度より児童一人一人に読む力を培う国語科の学習指導を研究しているが、児童の「国語科」への学習意欲が少しずつ高まっている。 ○ 昨年は読書量を年間で80冊という目標を掲げたが、本年度は読書の中身を重視し、読書の質を上げることを目指した。その結果、児童は、読み聞かせボランティアによる読み聞かせやくれよん号を楽しみにしている。読書の時間では、どの学年も静かに読書し、児童の読書への関心も高まっている。さらに、家読の推進を工夫していく。 ○ 基礎・基本をしっかり身に付けるために、学年の応じた家庭学習に力を入れた。その結果、家庭学習の習慣化が図られつつある。 ○ 授業を参観してみて、どの学年も児童が集中し、教職員の指導力が高いと好評いただいた。ただ、発表の声が小さい児童が見られた。	
	② 読書活動の推進	○ 児童の読書意欲向上 ○ 読書の質の向上 ○ 読み聞かせの全学年実施			○ 図書館教育の充実 (図書館サポーターとの活用) ○ 読書活用の工夫と意欲付け ○ ひまわりグループとの連携
	③ 家庭学習の充実	○ 家庭と連携した家庭学習の習慣化 ○ 各家庭での家読の実施 ○ ノーメディアデーの推進			○ 「家庭学習の手引き」を活用した指導の徹底 ○ 懇談会等での保護者への啓発 ○ 家読の啓発 ○ ノーメディア週間の実施
2 豊かな心の育成	① 道徳教育の充実	○ 思いやりの心の醸成 ○ 「特別な教科 道徳」の実践 ○ 環境美化の推進 ○ 花栽培による心の育成	4	○ 朝の登校時における児童のあいさつはよい。また、横断に際し、止まってくれた車にお礼のあいさつをする児童が多い。 ○ 家族や先祖を敬う心を身に付けている児童が多く、家族や近所のおじいちゃんおばあちゃんに対してやさしい。 ○ 地区の祭りや庄内一周YOU遊駅伝への応援等を一生懸命にする児童が多い。地区内でも児童同士が仲がよい。	
	② 基本的な生活習慣の徹底	○ 規範意識の高揚 ○ 「菓子野っ子よい子の1日」の徹底 ○ 気持ちよいあいさつや正しい言葉遣い ○ 無言移動、無言清掃			○ 全職員の共通理解と共通実践・指導の徹底 ○ 学級活動、日常指導の工夫 ○ 各清掃場所での無言清掃の指導の工夫
	③ 人権教育の充実	○ お互いを認め合う心の育成 ○ 自己肯定感の高揚 ○ 指導法の工夫・改善			○ 全教育活動を通じた実践 ○ 全校・異学年交流の実施 ○ 職員研修、授業研究の実施
3 健康安全教育の推進	① 体力向上プランの確実な実施	○ 運動に取り組む環境整備 ○ 体力テストの結果	3	○ 「早寝・早起き・朝ごはん」の中で、「早寝・早起き」がしっかりと身に付いていない児童がいる。そのため、朝の登校時に遅れる児童がいる。 ○ 児童の体力は目を見えて向上していないように感じる。水泳教室に向けた5・6年の水泳練習は熱心に取り組む、庄内地区で上位入賞者が出た。陸上教室へ向けて練習をがんばっていたが、入賞まではいかなかった。 ○ 「子どもがつくる弁当の日」の実践がよかった。今後とも取り組んでほしい。食育の大切さを学校便りやPTA新聞等で発信し、啓発を図りたい。	
	② 健康安全教育の充実	○ 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化 ○ 立腰指導の徹底 ○ 防災体制整備による安全確保 ○ 緊急時等の連絡体制整備			○ 週間の設定による取組強化 ○ 授業における立腰指導 ○ 3防体制 (防災、防犯、防疫) の確立 ○ 「学校安心・安全メール」による情報の発信と共有化
	③ 食育に関する指導の推進	○ 「子どもがつくる弁当の日」の実践 ○ 栄養指導の充実			○ 学年に応じた「菓子野小弁当の日」の実践 ○ 養護教諭と担任が連携した指導の工夫
4 ふるさと学習推進	① 地域の教育資源の積極的な活用	○ 地域と関連させた総合的な学習の時間「きらめきタイム」の充実 ○ 伝統芸能の継承	4	○ 学校便り「かしのっ子」を毎月発信したり、ホームページを更新したりして、学校での児童の様子が分かり、とても楽しみである。また、保護者や地域住民からの学校への関心は高い。 ○ 地域の行事に児童や保護者ももっと参加するように啓発してほしいという意見があり、PTA役員、自治公民館長と連携して、地域の祭り等の行事に参加をするように児童と保護者に啓発していく。	
	② 地域や各関係機関と連携した体験活動の実施	○ 学校支援ボランティア組織の活用 ○ 各関係機関と連携した体験活動 ○ 地域行事への積極的参加			○ 花つくりや学習支援でのボランティアの活用 ○ そよかぜグループとの連携した活動の実施 ○ 学校での地域の行事への参加の呼びかけ
	③ 教育活動の外部発信とPCネットワークの活用	○ 学校だよりの発行 ○ ホームページの充実			○ 学校だよりの「かしのっ子」を発行による保護者及び地域への情報発信 ○ ホームページの更新によるより新しい情報の発信
5 信頼される学校づくり	① 教職員の資質向上 ② 家庭・地域との連携・協同 ③ 学校運営協議会の充実 ④ 一貫教育の充実	○ コンプライアンスの遵守 ○ 家庭・地域との密な連携 ○ 地域と連携した防災 ○ 学校運営協議会を活用した実践 ○ 庄内地区小中一貫教育、幼保小連携の推進	3	○ 菓子野ならではの教育がなされており、保護者や地域住民からの信頼も高まっている。 ○ 生命の尊さや食育の大切さ等を学校や地域等のあらゆる活動において伝えていく必要がある。 ○ 学校側からの発信だけではなく、地域からも積極的に発信していく必要がある。	

総合所見

○ 5つの柱の内容については取組がされている。学校で実践されていることを基盤にしながら、さらに充実した教育活動を実践し、児童の「基礎学力の向上」「豊かな心の育成」「健康安全教育の推進」「ふるさと学習の推進」「信頼される学校づくり」に努力して行ってほしい。また、地域の教育資源をもっと活用し、児童が菓子野校区や庄内地区への愛情と誇りをもつようになってほしい。